

1月27日（水）

雨のち晴れ。時折強い風がありましたが、比較的温かな日でした。うちには野良猫が一匹棲みついています。玄関先のプランターの中や藁の入った段ボール箱に入って、のんびり日向ぼっこしています。

さて今日の私は、本社所蔵の銅鏡を調べました。鎌倉時代から室町時代の鏡のほかに、藤原光長、天下一人見和泉守、服部信義などの銘が入った鏡がありました。結果として、製作者名が入った鏡は、江戸時代中期から後期の製作であることが分かりました。「天下一」というのは江戸時代の鏡師が好んでつけた、いわば肩書というか階級というようなものです。何かのお墨付きがある訳でなく、勝手につけていたようです。それでも2～300年前のものですから、貴重なものです。鏡以外にも小型の狛犬（鎌倉時代）とか、承久三年（1221）の日付が入った皿だとか、年代だけみれば国宝級のものが案外あります。見た目は「なんだ、これ？」っぽいものばかりです。

「なんだ、これ？展」を開催したいですね。一杯やりながら、これはこんなことに使われたに違いない、とか討論すると、おもしろいでしょうね。アルコールがまわって、大激論になること間違いなし！ どうです？ 参加しませんか？